

## アドプトフォレスト豊能町切畑の調印式について

平成20年11月、回胴式遊技機商業協同組合は、大阪府が民間企業等と森林所有者の仲人となって森づくりへの参画を進める「アドプトフォレスト制度」を利用し、大阪府豊能郡豊能町切畑の里山で植樹を実施したほか、翌年以降は毎年、組合員等が下草刈り等のメンテナンスを実施してきました。

当組合では、この取り組みを長期的なものとして捉えていることから、5年の協定期間が経過した本年、大阪府などとの協定を更に5年間延長することを決定し、その調印式が3月12日(火)、大阪府庁舎で行われました。

会場では、大阪府の小河副知事が、「今後も長く継続していただき、他の参画企業の模範になっていただきたい」と要望され、これを受け、当組合の伊豆理事長が、「下草刈り等の環境保全活動を継続することが地域貢献にも繋がると思っていますので、今後もこの活動を継続して行っていきたいと考えています」と応えました。

豊能町切畑の現地では植樹した苗木も順調に育っています。この活動が目標とする多様な樹種で構成される「環境林」へと回復させるため、これからも地道な活動を続けていきたいと考えています。



(前列の左から2番目が、小河大阪府副知事、3番目が伊豆理事長)